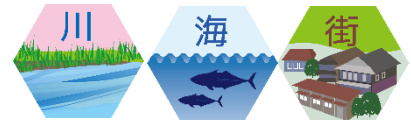


酒匂・小八幡地区



【地区の自然環境概要】

酒匂・小八幡地区は、川、海及び街の要素を持つ地区です。

土地利用の大半が住宅地や工業地であり、市街地や住宅地を好む動植物の生育・生息の場となっています。

南側で約 2 km にわたり相模湾に面する海岸は、一部、半自然の砂浜海岸が残っており、海浜を好む動植物の生育・生息の場となっています。また、広大な海は魚類等の動植物の生育・生息の場となっています。

東側には酒匂川が流れ、河川や河川敷などの水辺環境を好む動植物の生育・生息の場となっています。



【地区で見られる動植物】

市街地の中にある緑は動植物にとっての大切な生育・生息の場です。また、河川や海岸など水辺環境を利用する動植物が見られます。

- 酒匂川河口部及び海岸を含む水辺環境が広がり、ハマシギなどの海岸を好む鳥類や、イカルチドリやコチドリ等の河川の砂礫や中州などを生息の場とする鳥類が多数確認されています。¹
- 酒匂川では、ウグイなど河川中下流域でよく見られる種のほか、テングヨウジなど河口近くでよく見られる魚類が確認されています。また、汽水域に侵入する海水魚であるボラやスズキ、シマイサキ等も確認されています。²



イカルチドリ



コチドリ

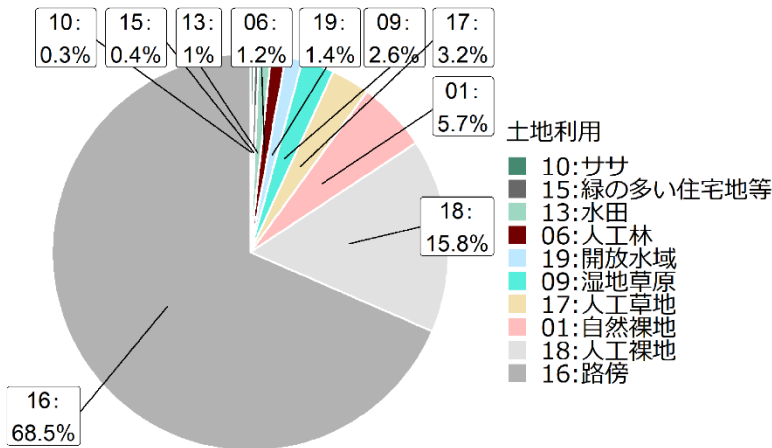


ウグイ

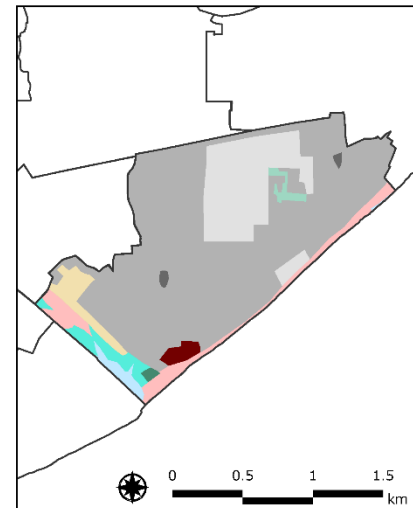
¹ 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

² 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果

- 植生図をもとに作成された土地利用を見ると、路傍及び人工裸地で約 8 割と広範囲を占めています。海岸沿いは自然裸地が広がり、一部で人工林が見られます。酒匂川周辺は、開放水域や人工草地、湿地草原、自然裸地等の水辺環境が見られ、土地利用の約 1 割を占めています。³



酒匂・小八幡地区の土地利用割合



酒匂・小八幡地区の土地利用

【暮らしと自然のつながり（生態系サービス）】

自然体験・観察の場や身近にある緑、生活環境の調整など、日々の生活の中で自然環境からの恩恵を受けています。

～文化的つながり～

- **自然体験・観察の場**：南側で相模湾に面する海岸では、伊豆半島や三浦・房総半島を見渡しながら海辺の散策が楽しめる他、釣り場としても利用され、レクリエーションの場として活用されています。一方で、海岸侵食や砂浜の減少による美しい海岸線の保全が課題となっています。
- **自然観賞の場**：紙幣を製紙から印刷まで一貫して行っている「独立行政法人国立印刷局」の工場では、春になると桜が見事に開花し、小田原の原風景となっています。⁴
- **スポーツの場**：酒匂川河川敷は、自然の中、軽快なサイクリングを楽しむことのできる「酒匂川左岸サイクリング場」として活用されています。また、小田原酒匂川花火大会では、河川敷が観覧席となり、夏の夜空を彩る美しい花火を楽しむことができます。
- **神社・寺院**：神社や寺院が多数あります。社寺林は、生活の身近にある緑として住環境の向上や心の安らぎに寄与します。また、一般的に神社・寺院の境内は、こどもの遊び場としても役立ってきました。
- **その他の資源**：本地区の北部には「酒匂堰」があります。過酷な労働に加え、天災など種々の要因による凶作の不安に脅える状態が続いていましたが、戦後になり農業基盤の改善が急速に進められました。酒匂川以東の水田を潤す「酒匂堰」は、酒匂川左岸土地改良区によって昭和 27 年（1952 年）に着手、満 7 ヶ年を費やし完成したものです。⁵

³ 出典：日本全国標準土地利用メッシュデータ（国立環境研究所）

⁴ 出典：小田原ふるさとの原風景百選（小田原市環境部環境政策課，平成 19 年（2007 年））

⁵ 出典：小田原市 HP 小田原デジタルアーカイブ <https://www.city.odawara.kanagawa.jp/darc/item/197/>

～生活環境とのつながり～

- **防災・減災**：国道1号沿いの海岸線の一部には松並木が残っています。海岸線沿いの松並木は、海岸沿いの街並みを作るとともに、一般的に防砂・防潮の役割を持つと言われています。

【地区で見られる特徴的な自然】

鳥獣保護区や天然記念物等に指定されるなど、大切に守り残していきたい自然環境が存在しています。

- **鳥獣保護区**：「酒匂川」は、希少鳥獣生息地（環境省レッドリストまたは神奈川県レッドデータ生物調査報告書において絶滅危惧が高いランクにある鳥獣の生息地であって、これらの鳥獣の保護上必要な地域）として、鳥獣の捕獲を禁止し、その生息環境を適切に保全しようとする区域として、神奈川県鳥獣保護区に指定されています。
- **巨樹・巨木林**：「上輩寺」「酒匂神社」「八幡神社」に生育する次表の樹木は、環境省が実施する自然環境保全基礎調査の巨樹・巨木林調査⁶で、保全すべき巨樹・巨木林に選定されています。

巨樹・巨木林概要

所在地	樹種	樹高(m)	樹幹(cm)	調査年
上輩寺	イチヨウ	28	500	平成12年（2000年）
酒匂神社	クスノキ	20	397	平成12年（2000年）
	クスノキ	23	324	平成12年（2000年）
	クスノキ	18	440	平成12年（2000年）
	クスノキ	20	455	平成12年（2000年）
	クスノキ	18	390	平成12年（2000年）
八幡神社	クスノキ	20	500	平成12年（2000年）
	クスノキ	20	520	平成12年（2000年）
	クスノキ	20	425	平成12年（2000年）
	クスノキ	20	520	平成12年（2000年）
	タブノキ	15	320	平成12年（2000年）
	クスノキ	20	450	平成12年（2000年）

※出典：第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書（環境省自然環境局生物多様性センター、平成13年（2001年））

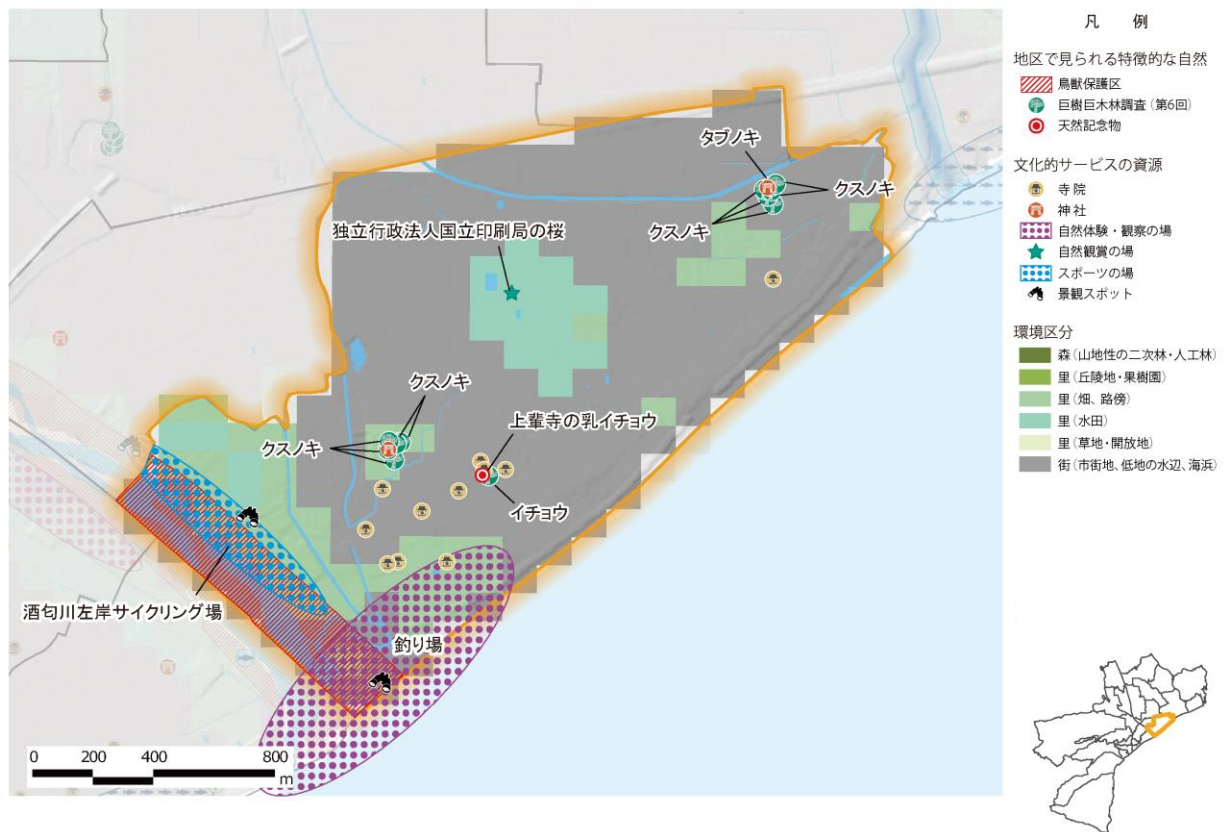
- **天然記念物**：「上輩寺」のイチヨウは、天然記念物に指定されています。

天然記念物概要

名称	指定	指定年月日	所在地	概説
上輩寺の乳イチヨウ	市	昭和49年（1974年） 3月30日	上輩寺	この木は、上輩寺本堂南西側の墓地区内にあり、勝福寺、光円寺のイチヨウと共に小田原市内における三大イチヨウの一つであり、乳柱の多いところが特色。この木は大小合わせて100本以上の乳柱があり、このように乳柱の多いものは乳イチヨウと呼ばれている。

※出典：小田原市 HP「天然記念物」をもとに作成 <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/lifelong/property/cultural/natural/>

⁶ 巨樹・巨木林調査：巨樹・巨木林は、わが国の森林・樹木の象徴的存在であり、良好な景観の形成や野生動物の生息環境、地域のシンボルとして人々の心のよりどころとなるなど、保全すべき自然として重要である、として、その全国的な実態を把握することを目的に実施されている調査



酒匂・小八幡地区の自然環境マップ